

父母教師会会員 各位

令和5年度 父母教師会 教養研修の御案内

仙台一高 父母教師会 研修委員会

盛夏の候、皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、仙台一高父母教師会では、昨年度に引き続き「教養研修旅行」を実施する運びとなりました。今回は本校初代校長 大槻文彦先生のゆかりの地である一関と、世界遺産平泉を訪れ、見聞を広めつつ、保護者の皆様と先生方とで教養と親交を深めたいと思います。

つきましては、実りある研修を計画・実施してまいりますので、会員の皆様にぜひ参加申し込みをいただきたく御案内申し上げます。

記

【教養研修旅行】

1、日 時 令和5年9月23日(土祝) 8:00~18:30 ※旅行取扱業者:日本旅行東北 仙台支店

2、行 程 仙台駅東口===中尊寺===平泉レストハウス(昼食)===毛越寺

8:30 発 9:50~ 11:30~12:30 12:40~13:20

世嬉の一酒造見学 === 一関博物館/道の駅巖美溪 === 仙台駅東口帰着・解散

13:40~15:10 15:30~16:15 18:30 着予定

※交通状況により時間は前後する場合があります。

3 参加申し込み

○**参加費 お1人様 5,000 円** (実費との差額は父母教師会からの補助金が充当されます)

大型バス40名×3台利用(ガイド付)・昼食代・施設入場料・記念品代 込み

○**申し込み方法** 参加申込書に参加費(人数分)を添え、お子様を通じ、

学級担任または総務部 保科先生(音楽準備室)・柴崎先生(外国語科研究室)までお申し込みください。

※『生徒氏名・クラス・番号を明記した封筒』に申込書と参加費を入れ、釣り銭のないように提出願います。

○**申込受付開始 8月21日(月)~締切 8月25日(金)先着順** (期間外は受付いたしません)

誠に恐縮ではございますが、**締切日の前でも定員(120名)になり次第、締め切りますので、早めのお申し込みをお願いいたします。**お子様の提出忘れ・遅れがありますのでご注意願います。

①父母教師会会員の方はどなたでもご参加いただけます。定員120名 先着順

②ご夫婦での参加もできます(保護者以外の御家族の方は御遠慮ください)

夫婦参加の方は、申込書に連名で記入の上、参加費もまとめて納入願います。

③お知り合いの方と近くのバスの座席を希望される方は、申込書にその旨を記入してください。

(同学年の会員同士に限ります。できるだけ御希望に添うように努めますが、調整が難しい場合は御容赦願います)

④バス車内ではマスク着用にご協力願います。(一高行事等の動画・スライドショー視聴予定)

⑤万一の場合、PTA 団体傷害、賠償保険が適用になります。

⑥万一、旅行が中止になった場合は、キャンセル料等を差し引いた金額を返金いたします。

個人的な直前のキャンセルについては、返金できない場合があります。

⑦当日、仙台帰着後、別会場にて懇親会を予定しております(旅行申込者に後日案内 参加は任意 費用別途集金)

【研修先概要】

○中尊寺(平泉町)平安美術の宝庫三千有余点の国宝・重要文化財を有する世界遺産



中尊寺は天台宗の東北大本山で、山号を「関山」といいます。慈覚大師によって850年に開山され、奥州藤原氏初代清衡が、11世紀後半に東北地方で続いた戦乱(前九年・後三年合戦)で亡くなったものたちの霊を敵味方の別なく慰め、仏国土(仏の教えによる平和な理想社会)を建設するという非戦の願いで造営されました。「金色堂」はじめ3,000点余りの国宝や重要文化財があり、平安美術の宝庫ともいえるところです。金色堂はその話を伝え聞いたマルコポーロが日本を「黄金の国ジバング」と読んだことでも有名です。

○昼食 平泉レストハウス(平泉町)岩手県内でも有数の規模と品揃えの観光施設

世界遺産中尊寺を参拝した後は、中尊寺の門前にある平泉レストハウスにて素材を岩手県内産にこだわったおいしいお食事。お食事のあとは県内有数の規模と品揃えのお土産どころでショッピングはいかかでしょうか？

○平泉毛越寺(平泉町)特別史跡・特別名勝の世界遺産 浄土世界がひろがる日本を代表する庭園



毛越寺も慈覚大師開山し、藤原氏二代基衡公から三代秀衡公の時代に多くの伽藍が造営され、当時は中尊寺をしのぐほどの規模と華麗さであったといわれています。奥州藤原氏滅亡後、度重なる災禍に遭いすべての建物が焼失しましたが、大泉が池を中心とする浄土庭園と平安時代の伽藍遺構がほぼ完全な状態で保存されており、国の特別史跡・特別名勝の二重の指定を受けています。広大な境内は池を中心に広がっており、景色を楽しみながらのんびりと散策することができます。

○世嬉の一酒造見学(一関市) 地域の風土を担い「世の人が嬉しくなる一番の酒」づくりを目指す蔵



岩手・一関にある「世嬉の一(せきのいち)酒造」は江戸時代から続く造り酒屋。日本酒でも有名ですが、ビール好きの方なら『いわて蔵ビール』の醸造所としてもご存知かもしれません。2000坪の敷地のなかに、国の登録指定文化財となっている酒蔵が7つ現存し、レストランやカフェ、お酒造りについて学べる博物館、クラフトビールの醸造所などの用途で使用されています。文化人とも交流があり、歌人島崎藤村や井上ひさし氏が逗留した蔵元でもあります。こちらではお酒の無料試飲ができます。さらにご希望の方は、クラフトビールの飲み比べ体験(自己負担1,100円 当日集金)ができます。飲み比べ体験の御案内は、参加申込者に別途行います。

○一関市博物館/道の駅 蔵美溪(一関市)併設

(一関市博物館)一関の文化と歴史を深く知る場所へ貴重な刀剣や一関が輩出した大槻氏の資料と一関の文化や歴史に触れることのできる博物館です。

1階は広々とした吹き抜けのエントランスホールで博物館主催の行事に対応しています。2階の展示室では蔵美溪遺跡の床下展示、一関地方の縄文、弥生の人々の暮らしから度重なる水害から懸命に立ち上がってきた現代までの通史展示に続き、「舞草刀と刀剣」、一関出身の蘭学者大槻玄沢氏展示「玄沢と蘭学」や同じく一関にルーツをもつ仙台一高初代校長大槻文彦氏の展示「文彦と言海」、そして和算の盛んだった一関の当時の資料などを展示した「一関と和算」の4つのテーマ展示があり、その中で映像やパソコンゲームも楽しめます。



(道の駅 蔵美溪)一関のお土産だけでなく新鮮な野菜やつきたてのお餅がたべられる道の駅。採れたての新鮮農産物から工芸品まで豊富に揃う産直施設のほか、一関のもち食文化を紹介する展示室、また『レストランペタンくん』(ラストオーダー16:00)では手間暇かけた本場のもち料理が楽しめます。こちらのレストランには地元の方も食べにくるほどだそうです。